

# 柱V 人を引きつける魅力ある地域づくり

## いのちとマグネットの視点

- ☞ 地域づくりの多様な担い手を “育む”
- ☞ 自然や町並み、豊かな水などを地域活性化に “活かす”
- ☞ 何度も行きたくなる地域の魅力を “創る”
- ☞ 地域自らがまちづくりや魅力づくりを “楽しむ”
- ☞ 豊かな水やみどり、自然を “守る” “継ぐ”



## プロジェクト

### 16 地域資源を活用したにぎわい拠点づくり

魅力あふれる城ヶ島の創造

湘南江の島の魅力アップ

歴史的観光地大山の魅力再発見

箱根大涌谷の新たな魅力づくり

地域自らがにぎわい創出に取り組むしくみづくり

### 17 行ってみたい神奈川の観光魅力づくり

観光客の誘客促進

商店街を核とした地域の魅力づくり

観光を担う人材の育成や観光関連産業の活性化

観光客や観光消費額の増加による地域活性化

### 18 文化芸術による心豊かな神奈川づくり

文化芸術によるにぎわいの創出

地域における文化芸術活動への支援

文化芸術を活用した地域活性化

### 19 NPOの自立的活動と協働の推進

ボランティア活動の充実に向けた支援

多様な主体による新たな協働の推進

多様な主体による協働型社会の実現

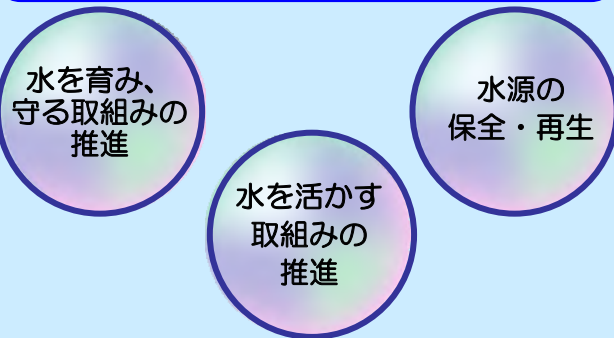
## コラム：神奈川の豊かな水

神奈川は水と自然に恵まれ、豊富でいつでも安心して飲める水を、県民に提供してきました。

「水のさと かながわ」づくりの取り組みでは、豊かな水を活かし、水の魅力を発信する地域づくりに取り組みます。

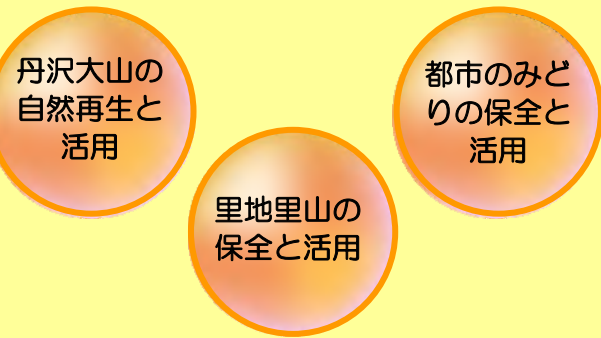


## 20 「水のさと かながわ」づくり



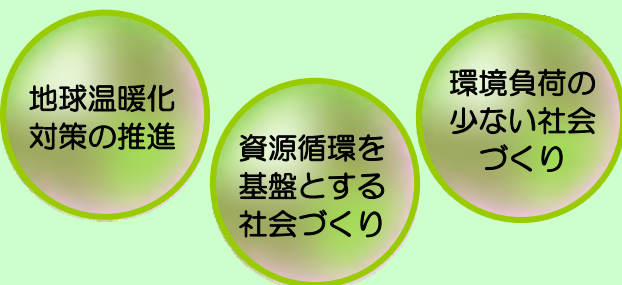
水の恵みによる豊かな地域づくり

## 21 神奈川の自然環境の保全と活用



やすらぎや潤いあるみどりの保全と活用

## 22 持続可能な環境配慮型社会づくり



誰もが環境に配慮して行動する社会の実現

ねらい

- 地域自らがにぎわい創出に取り組むしくみづくり
- 地域の特徴ある資源を活用した地域の活性化

目標

各にぎわい拠点における入込観光客数（単年度）

(にぎわい拠点)

	【現状(2010年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
城ヶ島	107万人	—	—	110万人

※「城ヶ島」の入込観光客数

	【現状(2010年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
江の島	684万人	—	—	705万人

※「湘南海岸・江の島」の入込観光客数

	【現状(2009年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
大山	103万人	—	—	107万人

※「大山方面」及び「日向方面」の入込観光客数

	【現状(2009年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
大涌谷	236万人	—	—	243万人

※「箱根ロープウェイ」の乗客数及び大涌谷を經由する路線バスの年間輸送人数(当該地点の入込観光客数の公表数値なし)



観光イベントの様子

観光地としてより一層の魅力アップを図るためには、固有の地域資源を活用した取組みを図ることが重要です。そこで各にぎわい拠点の知名度や集客力を高め、象徴的な地点及び周辺地域の入込観光客数や利用者数を増やすことを目標としています。

なお、2011年の東日本大震災の影響等により減少した観光客の回復と、各拠点の基盤整備に複数年を要することから、計画期間の最終年度に目標値を設定しています。

(注)現状値は、公表されている最新の実績であり、「城ヶ島」、「江の島」は2010年、「大山」、「大涌谷」は2009年の数値です。

## 1. 魅力あふれる城ヶ島の創造

☞多くの観光資源に恵まれた城ヶ島の魅力を高めるため「魅力あふれる城ヶ島創造プラン」に位置づけた「馬の背洞門」の保全やハイキングコースの整備、周辺での植栽による花いっぱい島・城ヶ島づくりなどを推進します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 馬の背洞門の保全やハイキングコースの整備など	県、市 民間	保全・整備の実施		
② 花いっぱい島・城ヶ島に向けた取組みの推進	県、市 民間	様々な花の植栽の実施		
③ 名物料理の開発や観光イベントの実施	県、市 民間	イベントなどの検討・実施		

## 2. 湘南江の島の魅力アップ

☞湘南江の島の魅力アップを図るため、湘南港ヨットハウスの再整備やかながわ女性センターの有効活用を図るほか、江の島島内への交通アクセスの改善、観光客・住民の安全・安心の確保に努めるとともに、おもてなしの向上に取り組めます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 湘南港ヨットハウスの再整備やかながわ女性センターの有効活用	県	施設の再整備・有効活用		
② 島内への交通アクセスの改善などの交通対策の推進	県、市 民間	交通対策の検討・実施		
③ 観光客などの安全・安心の確保やおもてなしの向上の取組み	県、市 民間	取組みの検討・実施		

### 3. 歴史的観光地大山の魅力再発見

☞ 歴史ある観光地大山の魅力を再発見し、にぎわいのある大山をめざすため、文化遺産の整備・活用や観光、イベントの充実・強化などを進めるとともに、大山バイパス整備による観光地大山への交通アクセスの改善などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 文化遺産（宝城坊）の整備と活用	県、市 民間	整備と活用の実施		
② 大山バイパスの整備による交通アクセスの改善など	県、市 民間	交通アクセスの検討・実施		
③ 地元の農産物を活用した新たな観光イベントの実施による地産地消の推進	県、市 民間	イベントなどの検討・実施		

### 4. 箱根大涌谷の新たな魅力づくり

☞ 箱根大涌谷を訪れる観光客の利便性・安全性の向上を図り、また、園地のさらなる魅力を高めるため、民間、団体、町との協働による大涌谷園地内の施設再整備などに取り組むとともに、箱根ジオパーク構想の推進を通じて、県内外に対する地域資源の魅力の発信などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 箱根大涌谷園地活性化協議会などによる箱根大涌谷園地再整備	県、町 民間	施設再整備の実施		
② 地域と一体となった箱根ジオパーク構想の推進	県市町 民間	構想の推進		

- 地域資源を活用したにぎわい拠点づくりの取組みは、市町村や民間、地域住民などの連携により、既に自主的に取組みが進んでいる地域について、県がその活動を支援・連携し、一層の魅力アップを図る「にぎわい拠点づくり」のモデルを創出していくものです。
- この4地域での成果がモデルとなり、他地域でも同様の取組みが進んでいくことをめざします。



- ねらい
- 観光客や観光消費額の増加による地域活性化
  - 商店街やまちの魅力の向上

目標 神奈川を訪問する入込観光客数（単年度）

【現状(2010年)】 【2012年】 【2013年】 【2014年】

174百万人

174百万人

175百万人

176百万人

経済状況の低迷や東日本大震災などから観光客が減少しており、地域の魅力を高め何度も訪れたい神奈川を実現することが重要です。そこで、観光魅力向上や人材育成を図ることで、神奈川を訪れる観光客数を増やすことを目標としています。



箱根大名行列のにぎわい

## 1. 観光客の誘客促進

- ☞ 宿泊旅行者や観光消費額の増加を図るため、自然、歴史、産業、都市などの地域資源を旅行業者に紹介する「観光セリ市場」をはじめとした取組みを通じて、地域の魅力向上や旅行商品化を促進します。
- ☞ 国内外からの観光客の増加を図るため、県内の観光情報の発信や観光案内所の運営などの受け入れ体制整備に取り組みます。
- ☞ 歴史的な文化遺産群を守り活用するため、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録に向けた取組みを進めます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 地域の観光魅力の向上や旅行商品化の促進	県 市町村	観光魅力の向上、観光セリ市場の開催		
② 観光情報の発信や観光客の受け入れ体制整備	県	情報発信、観光案内所の運営		
③ 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の推進と活用	県 市町村	世界遺産登録の推進と活用		

## 2. 観光を担う人材の育成や観光関連産業の活性化

- ☞ 地域の観光魅力づくりを促進するため、地域の観光を担う人材を育成します。
- ☞ 観光関連産業の活性化を図るため、市町村や観光関連事業者などと連携し、オール神奈川での観光キャンペーンを展開するとともに、かながわ産品の販路拡大などを図ります。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 観光を担う人材の育成	県 市町村	講座の実施		
② 観光キャンペーンの展開やかながわ産品の販路拡大	県、市町村 民間	キャンペーンの実施、観光物産展への出展		

## 3. 商店街を核とした地域の魅力づくり

- ☞ 人を引きつける魅力あるまちづくりを促進するため、商店街が中心となっていく地域ブランドの確立やまちのにぎわい創出などの取組みを支援します。また、地域やまちの活性化を図るため、中心となり活動する若手事業者などの人材を育成します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 商店街の取組みへの支援と人材育成	県、市町村 民間	商店街への支援など		

ねらい

- 文化芸術を活用した地域活性化
- 身近で文化芸術に親しむ機会の拡充

目 標

神奈川芸術劇場及び神奈川県民ホールの利用者数  
(単年度)

【現状(2010年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
691千人	825千人	830千人	840千人

文化芸術は安らぎや生きる喜びを見出すうえで欠かせないものであり、また県民の関心も高いことから、文化芸術に親しむ機会を提供することが重要です。そこで、県の代表的な施設である神奈川芸術劇場や神奈川県民ホールの利用者数を増やすことを目標としています。



神奈川芸術劇場で上演された「太平洋序曲」

## 1. 文化芸術によるにぎわいの創出

- 県民一人ひとりが文化芸術に親しむ機会を広げるため、神奈川芸術劇場などの拠点施設において優れた文化芸術の創造・発信及び鑑賞機会の提供に取り組みます。
- 文化芸術を通じて地域の活性化を図るため、神奈川芸術文化財団などと協働し文化芸術公演や文化イベントなどと地域の資源を組み合わせ、魅力とにぎわいのある地域を創出するモデルづくりに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 文化芸術の創造・発信と鑑賞機会の提供	県 民間	創造・発信、鑑賞機会の提供		
② 魅力とにぎわいのある地域創出モデルづくり	県、市町村 民間	モデル検討	にぎわい事業の実施	

## 2. 地域における文化芸術活動への支援

- 身近で文化芸術に親しむ機会を広げるため、神奈川フィルハーモニー管弦楽団が行う学校や施設への訪問演奏など地域に密着した様々な文化芸術活動団体の取組みを支援します。
- 県内各地の伝統芸能に親しむ機会を広げ、地域の活性化を図るため、技能を継承する人材の育成を支援するとともに、民俗文化財の保存と活用に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 地域に密着した文化芸術活動団体への支援	県	文化芸術活動団体への支援		
② 伝統芸能を継承する人材の育成支援、民俗文化財の保存と活用	県	人材育成支援、民俗文化財の保存と活用		

ねらい

- 多様な主体による協働型社会の実現
- NPOに対する寄附文化の醸成

目標

寄附者が税制上の優遇を受けられるNPO法人数  
(累計)

【現状(2010年)】 【2012年】 【2013年】 【2014年】

14法人

50法人

80法人

110法人

県内には多くのNPOなどが活動していますが、協働型社会の実現に向けては、NPOが自立的活動を行うことができる環境づくりが重要です。そこで、寄附者が税制上の優遇を受けられるNPO法人数を増やすことを目標としています。



企業とNPOの交流会の様子

## 1. ボランティア活動の充実に向けた支援

- NPOが地域の課題解決に向けて安定した活動ができるようにするため、寄附者が税制上の優遇を受けられる「県指定NPO法人制度」を推進するとともに、NPOに対する寄附文化の醸成に取り組みます。
- NPOの持続的な組織運営を支援するため、地域課題の解決や活性化に向けた活動に関する学びの場である「かながわコミュニティカレッジ」における人材の育成など、NPOの活動基盤の強化に向けた取組みを推進します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 県指定NPO法人制度の実施	県	法人の指定、制度の運用		
② NPO活動を支える人材の育成	県 民間	研修・講座の実施		

## 2. 多様な主体による新たな協働の推進

- 複雑、多様化する地域課題の効果的な解決を図るため、NPOを中心に企業や大学などの多様な主体と県との協働に各部署で取り組みます。
- NPOが企業や大学などと結びついて独自に課題を解決していく力を発揮できるようにするため、NPOと企業などとの交流の場づくりを進めるとともに、協働の促進を図り、その成果を広く発信していきます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① NPOを中心とする多様な主体と県との協働	県 民間	協働による取組みの実施		
② NPOと企業などの交流と協働の促進	県	交流機会の提供、協働の促進		

ねらい

- 水の恵みによる豊かな地域づくり
- 水源の保全・再生

目標

水源地域のイベントの参加者数（単年度）

【現状(2010年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
35万人	35万人	36万人	37万人

神奈川の豊かな水を地域振興に活かしていくためには、水をつくり、大切に育んできた水源地域からメッセージを発信することが重要です。そこで、より多くの人々が水源地域のイベントに参加し、水の恵みを実感してもらうことを目標としています。



カヌー体験の様子

## 1. 水を育み、守る取組みの推進

- 神奈川の水を育み、守ってきた水源地域の活性化を図るため、水源地ツーリズムや上下流域住民の交流などを進めるとともに、水の魅力を神奈川の資源として発信していきます。
- 水を大切にすることを育むため、体験活動、環境教育やイベント実施などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 上下流域住民の交流促進や水の魅力の発信	県、市町村 民間	上下流域住民の交流などの推進		
② 水に関する体験活動や環境教育などの推進	県、市町村 民間	体験活動や環境教育の推進		

## 2. 水を活かす取組みの推進

- 神奈川の水の魅力を高めるため、「水の観光」を演出するPR事業、アクアツーリズムの検討などに取り組みます。
- 神奈川の水のおいしさを発信するため、新たな水商品の開発やその支援を行います。また、水道事業運営のノウハウを提供することで企業等の事業展開の支援に取り組みます。
- 水とふれあえる環境づくりを進めるため、湖や名瀑など水に着目した観光スポットの整備、河川などを活用した親水空間の整備などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 五感で体感できる「水の観光」の演出	県	PR事業の実施、アクアツーリズムの検討など		
② 新たな水商品の開発やかながわ方式による水ビジネスの推進	県 民間	水商品の開発などの推進		
③ 観光スポットや親水空間などの整備	県、市町村 民間	観光スポットや親水空間の整備		

## 3. 水源の保全・再生

- 良質な水を将来にわたって安定的に確保していくため、水源地域の森林などを適切に管理、整備することにより、神奈川の水を育む水源環境の保全・再生に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 神奈川の水源地環境の保全・再生	県、市町村 民間	保全・再生の推進		



ねらい

- 👉 やすらぎや潤いあるみどりの保全と活用
- 👉 荒廃しているみどりの回復
- 👉 都市部におけるみどりの創出

目標

県内のみどり(緑地)の面積の割合

【現状(2010年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
46.2%	46.6%	47.0%	47.8%

減少を続ける都市部のみどりの確保や荒廃する森林の保全により、豊かな自然環境を次世代に継承するためには、様々な主体が協力して緑地の保全や活用などを進めていくことが重要です。そこで、こうした継続的な取り組みを進めることで県内のみどりの面積を増やすことを目標としています。



みどり豊かな自然環境

## 1. 丹沢大山の自然再生と活用

- ☞ 丹沢大山の自然環境の劣化に対応するため、土壌流出防止対策、ブナ林再生の研究、植生保護柵の設置、希少動植物の保全などの自然再生施策に取り組みます。
- ☞ 丹沢大山に生息するニホンジカの高密度化による植生衰退や里山周辺での農林業被害に対応するため、捕獲強化や生息環境調査など、ニホンジカの保護管理に取り組みます。
- ☞ 丹沢大山の適正利用を図るため、パークレンジャーや活動団体との連携による登山道整備やマナーの普及啓発に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 土壌流出対策など自然再生施策の推進	県、市町村 民間	自然再生施策の実施		
② ニホンジカの保護管理の実施	県 市町村	ニホンジカの捕獲や生息環境調査の実施		
③ 登山道整備や適正利用に向けた普及啓発	県、市町村 民間	登山道整備や普及啓発の推進		

## 2. 里地里山の保全と活用

- ☞ 多様な生物を育み、生活文化を伝承する場など、里地里山の多面的機能の発揮と次世代への継承を図るため、保全が必要な地域の選定、保全活動を行う団体等の協定締結や団体等への支援、普及啓発活動に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 里地里山の保全活動への支援や普及啓発活動の実施	県、市町村 民間	地域活動団体への支援など		

## 3. 都市のみどりの保全と活用

- ☞ 都市部のみどりを保全するため、県と市町村との役割分担について協議し、緑地の買い入れや維持管理に取り組みます。また、NPOなどとも連携し、貴重な自然環境を有する「小網代の森」の適切な管理と活用に向けた整備などに取り組みます。
- ☞ 都市部のみどりを保全・創出するため、県立都市公園の整備や三浦半島国営公園の誘致などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 都市部の緑地や「小網代の森」の保全と活用の推進	県	みどりの保全と適切な維持管理・活用		
② 県立都市公園の整備推進や国営公園の誘致	県、市町村 民間	県立都市公園の整備など		

- ねらい**
- 誰かが環境に配慮して行動する社会の実現
  - 地球温暖化対策の推進による温室効果ガスの削減
  - 廃棄物の減少などによる環境負荷の低減と資源の消費抑制

**目標** 大規模排出事業者から排出されるCO<sub>2</sub>の前年度比削減率

【現状(2010年)】 【2012年】 【2013年】 【2014年】

1.28%

1.3%

1.3%

1.3%

温室効果ガスの一つである二酸化炭素排出量を効果的に抑制するためには、産業や業務など排出量の多い部門による計画的な削減が重要です。そこで、大規模排出事業者から排出されるCO<sub>2</sub>の前年度比削減率を目標としています。



かながわ環境ポスター・標語コンクール入賞作品

## 1. 地球温暖化対策の推進

- ☞地球温暖化対策の推進により温室効果ガスの排出量を削減するため、「事業活動温暖化対策計画書制度」などを通じて大規模事業者の排出量の削減や建築物への新エネルギーの導入を図るとともに、家庭における温暖化対策の推進や電気自動車（EV）の普及促進に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 事業活動・建築物・特定開発温暖化対策計画書制度による温暖化対策の推進	県	計画書制度の運用		
② NPOなどと連携した環境教育・家庭における温暖化対策の推進	県	環境教育などの推進		
③ EVの普及促進	県、市町村、民間	EV導入への支援など		

## 2. 資源循環を基盤とする社会づくり

- ☞県民や事業者がもの・資源を大切に、社会全体として最終的に不要となる廃棄物を限りなく少なくする生活や産業活動が営まれる循環型社会づくりを進めるため、リサイクル認定製品の普及促進、リユースショップ認証制度の創設や市町村のごみ処理広域化に向けた支援などに取り組みます。
- ☞循環型社会づくりを推進する県民や事業者を支援するため、各種リサイクル制度の普及啓発などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① リサイクル認定製品の普及促進など、3R（発生抑制・再使用・循環的利用）の推進	県、市町村、民間	発生抑制などの推進		
② リサイクル制度の普及啓発などの推進	県、市町村、民間	発生抑制を推進する取組みの支援		

## 3. 環境負荷の少ない社会づくり

- ☞廃棄物の適正処理を推進するため、廃棄物処理業者の指導・育成や県立産業廃棄物最終処分場の運営などに取り組みます。
- ☞不法投棄の未然防止対策を推進するため、県民、事業者、市町村や県警と連携・協力しながら、未然防止に向けた監視活動や普及啓発などに取り組むとともに、不法投棄された廃棄物の撤去を行います。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 廃棄物処理業者の指導、県立産業廃棄物最終処分場の適切な運営	県、市町村、民間	適正処理の推進		
② 不法投棄の監視活動や普及啓発、不法投棄された廃棄物の撤去	県、市町村	監視活動の実施など		